

天皇陛下の退位に関する衆参両院議長案について

議長案については、昨年8月8日の天皇陛下のお言葉を付度しているとは言えず、また、陛下のお言葉を受けた国民の総意に十分寄り添うものになっていないのではないかと自由党は考える。

今後、開かれた議論の場を国会に設け、女性宮家の創設を含む皇室典範の改正の議論を進め、今国会中に成案を得るよう務めるべきである。